

今週一枚： 山肌を彩る七色の帯 2021年11月10日（長崎北徳洲会病院より）



それは、ほんの数分間の出来事であった。

「ワー」と歓声が上がり、人々が窓外の景色を見やり、山肌を彩る七色の帯の出現に息をのむ。

緑葉樹の山々なるも、秋の気配をいっばいに漂わす木々たちは、この突然の訪問者を愛おしくやさしく包み込む。

そうするうちに山肌はいつもの山肌に、空もいつもの空に戻り、何事もなかったように、この幻想的なドラマは終わってしまった。

そこには太陽の陰りととともに、晩秋の午後の冷たい空気が近づいていた。

【備考】

長崎大学病院にて人工股関節置換手術を受けた。

術後、リハビリのため当院に移った。

ここでのリハビリ中に遭遇した景色である。

（この一週間後に当病院を退院、一連の治療を全て完了し、日常生活に無事復することができた）

